茨城産業人クラブ

概　要

◇1964年（昭39）4月7日設立　会員数　157人
◇事務局所在地 ＝ 水戸市宮町2の3の2、富士ビル
（日刊工業新聞社茨城支局内）
◇電話 ＝ 029・221・6400

成長の活路 見出す

イノベーション支援

茨城産業人クラブは設立から47年を迎えた。現在は、茨城県内の中小製造業の経営者や、大手企業の工場長、支店長らを中心に約160の会員が所属する。

名誉会長に橋本昌茨城県知事、参与に茨城県商工労働部長、茨城大学学長、筑波大学副学長ら、会長にコロナ電気の柳生修社長、副会長に助川電気工業の百目鬼孝一社長、協立製作所の高橋日出男社長が就いている。

それぞれの企業経営におけるイノベーションを推進するために、さまざまな情報を共有し、新たな成長の活路を見いだそうとする志の高い経営者を中心に、この数年、会員は年々増加している。

◇　◇

茨城産業人クラブの活動は、経済講演会などの勉強会を中心にして、親睦ゴルフ大会、県の企画部や商工労働部幹部との意見交換会などを通じて、会員同士の親睦を図っている。こうしたコミュニケーションの結果、加工の受発注など会員間のビジネスの話も多数生まれている。また、県商工労働部や茨城県工業技術センターと共同で実施している講演会も好評だ。

会員や関係者ら約150人が聴講した昨年11月の経済講演会「工場長サミット」

新春経済講演会で講演する鬼沢常陽銀頭取

これまで実施した経済講演会には、一流の講師陣を迎えている。橋本知事、元経済産業事務次官の北畑隆生氏のほか、産業技術総合研究所、茨城大学、常陽銀行、県内の中小企業経営者が、それぞれの知見を基に話をしている。今月開催した新春経済講演会では、常陽銀行の鬼沢邦夫頭取が「人材育成による企業活力の向上」をテーマに講演。人事部長の経験をベースに、趣味の野球の話を絡めながら、楽しい話をした。毎回、150人ほどの参加者が熱心に聴講している。

工場長サミット　モノづくり 熱く議論

2010年秋に実施したパネル討論「工場長サミットー変わる茨城のモノづくり」では、日立製作所の石塚達郎日立事業所長、コマツの小川啓之茨城工場長、キヤノンの奥垣弘映像事務機取手工場長という県内を代表する3人の工場長が集まった。そこに茨城県の福田敬士商工労働部長が加わって、モノづくりのあり方について熱い議論を交わした。コーディネーターは茨城県中小企業振興公社の中野清蔵プロジェクトマネージャーだった。

討論では、グローバル化が進む中で、茨城に立地する工場も世界で競争するためにコストダウンの努力を続けなければいけないと各氏は強調した。そうした中で県内の中小企業が、大手と取引していくためには、仕事を待つだけでなく、提案力が不可欠であることで意見が一致した。

また、年に2、3回行う親睦ゴルフ大会は毎回30人ほどが参加する。茨城県内は、平らな土地が多く、優良なゴルフ場が数多く、地域資源の一つとなっている。ゴルフが趣味という経営者も多く、県内の名門コースで日頃の腕を競い合っている。これまでの会場となったゴルフ場は、大洗ゴルフ倶楽部、宍戸ヒルズカントリークラブ、笠間東洋ゴルフ倶楽部などで、初級者から上級者まで、和気あいあいとした楽しいゴルフが繰り広げられている。

このほか、県の総合計画策定の委員に、産業人クラブの役員が選ばれている。今回の県の5カ年計画には、茨城産業人クラブ顧問である平沼産業の平沼憲一社長が参加している。前回の5カ年計画には、茨城産業人クラブ会長の柳生修コロナ電気社長が参加しており、茨城県産業界を代表して、県の商工労働政策についてさまざまな意見を述べている。このほかにも、県のさまざまな産業施策を検討する上で、茨城産業人クラブの会員各社の意見は欠かせないという位置づけになっている。

これまで茨城県は「いばらき産業大県」を目指し、産業の振興によって、雇用確保など生活の基盤整備を進めてきた。企業立地件数で全国トップなど、ある程度の実績を得られたことから、今後は「生活大県」として、住みよい地域づくりを行っていくことを橋本知事は目標に掲げている。

ただ、時代が変化していく中で、産業も変化している。そのための産業振興策にも、終わりはない。県が環境・エネルギーや次世代自動車などの新産業育成のために立ち上げた「いばらき成長産業振興協議会」では、茨城産業人クラブと共催によって、講演会を開催したりしている。今後も協力関係を密接にしていくことになる。

進む交通網整備　地域越えて連携へ

茨城県は、交通網の整備が急速に進んでいる。高速道路は、南北を常磐自動車道が結び、東西は北関東自動車道が3月に全面開通し、栃木県と群馬県につながる。また、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）も順調に整備されており、開通すれば利便性が大幅に向上する。2010年に開港した茨城空港は、韓国便のほか、中国・上海、神戸、北海道、愛知とつながり、路線も着々と増えている。港湾も整備されており、日産自動車栃木工場が、海外に出荷する乗用車のための港を横浜から茨城に変更するなどしている。

また、茨城には筑波研究学園都市や、原子力の研究施設が集まる東海地区、日立製作所の工場が集まる日立地区がある。特に日本の頭脳が集まるといわれる筑波地区は、研究者が1万人以上、博士号取得者が5000人以上いる。研究機関も100カ所近く集まっている。

茨城県産業界が今後ますます発展していくためには、整備された交通網を活用し、こうした特徴あるそれぞれの地域が連携し、総合力を発揮していくことが必要になっている。

特集・挑戦する日本の経営者たち

経営の判断材料 提供を

柳生　修氏
（コロナ電気社長）

―約150の会員で活動しています。

「経費削減が叫ばれるこのご時世で、100社を超える企業が会員になられていることは、会が会員としての利点を享受できている一つの証だと考えています。しかし、これに甘んじて企画などで工夫していかないと社数は減っていくかもしれません。かつては会員数が60―70社だった時もありました。常に会員が何を望んでいるかを把握し、懇親会などへの出席者が今以上に増えるよう、運営していく必要があります」

―会員は何を求めていると思いますか。

「産業人クラブの活動を通じて、他社の考え方を吸収し、自社の経営の判断材料にしていける場の提供ではないでしょうか。当社がモノづくりの企業ということもあり、日本のモノづくりが将来どうなるのかを考える上でさまざまな判断材料を提供できればと考えています」

―考える場として、今後、何が考えられますか。

「モノづくりの中小企業だけでなく、大手企業、県や中小企業振興公社、工業技術センターなど行政関係や金融機関なども会員になっています。2010年11月に県内の大手企業の所長・工場長3人を招いて実施した経済講演会『工場長サミット』は新しい試みで、会員からの評判も良かった。次回は開発設計者や、資材・調達の責任者などにご登壇してもらえればと思っています。また、産学官金連携の講演会は、コーディネータを務める支援機関の方々のパネル討論も次回以降に実施できればと思います」

―2011年度は2期4年の会長任期の最終年度です。クラブを維持発展させるために必要なことは。

「茨城県は、つくば市周辺の研究機関や日立の企業城下町、鹿島臨海工業地帯、これに今後は古河市に進出してくる日野自動車もあります。恵まれた産業的な立地をもっと身近に感じられるように、県内の研究機関や諸施設などの見学を増やし、筑波大学や茨城大学などに所属する研究者のテーマを吸収する機会を増やしていきたいと思います。産業人クラブがコーディネート役として橋渡しできれば、存在意義を高めることができます」

「もう一つは事業継承という経営課題にどう関わっていくかです。次代を担う後継者が自分の会社に戻ってきている企業はたくさんあり、クラブにも後継者になる人が参加し始めています。茨城産業人クラブには若手経営者向け交流会がありますが、これとは別に例えば青年部のような組織があってもよいかもしれません。商工中金のように全国規模で同年代の友人がつながっているという話も聞いています。他県の産業人クラブも増えましたので、クラブ同士で連携するなど、次代を担う人への研修の場を提供することが、産業人クラブの役割の一つになってもよいと思います」

会長インタビュー

何歳になってもお風呂が大好き

超高齢社会への挑戦
(株)デベロ
本社 〒310-0841 茨城県水戸市酒門町1744-2 029-247-2211(代) FAX029-247-2214
大阪支店 〒540-0004 大阪市中央区玉造2-3-17 アルマ・ヒル301 06-6945-1722(代) FAX06-6945-1720
デベログループ　デベロテクノ(株)・(株)プランチーズ デベロ・デベロ老人福祉研究所
ホームページ　http://www.develo-group.co.jp

SUNYOU
株式会社 三友製作所
代表取締役社長 加藤木 克也 KATSUYA KATOHGI
マイクロマニピュレータ
ラボ・オートメーション
精密加工
■本社工場 〒313-0004 茨城県常陸太田市馬場町 457 TEL.0294-72-2245 FAX.0294-73-0459
■団地工場 〒319-1225 茨城県日立市石名坂町 2-43-10 TEL.0294-53-2727 FAX.0294-53-2729
http://www.sunyou-ss.co.jp

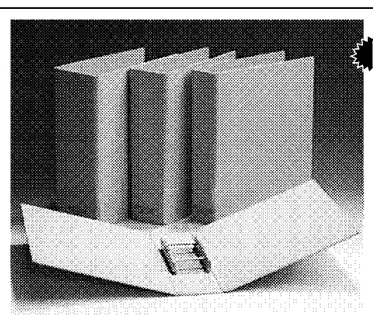
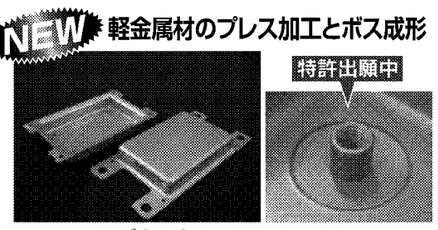
治工具・省力化機械の設計製作
株式会社 大塚製作所
代表取締役 根岸 孝雄
〒311-4164 茨城県水戸市谷津町字細田1-64
TEL.029-251-4567 FAX.029-252-4800
E-mail:takao@ohthuka.co.jp http://www.ohthuka.co.jp/
ISO 9001 BUREAU VERITAS Certification

躍進を続ける
いばらきの優良企業

Nimblox
助川電気工業株式会社
代表取締役社長 百目鬼 孝一
本社事務所 〒318-0004 茨城県高萩市上手綱3333-23
☎ 0293(23)6411 FAX 0293(22)2909
http://www.sukegawadenki.co.jp/
E-mail webadmin@net-sukegawa.com

コロナマルチグレーティング
マイクロプレートリーダ
SH-9000Lab
3年保証
■グレーティング
スペクトル高速スキャン
■モジュール式
蛍光/時間分解蛍光/発光/吸光
から選択、購入後の追加可
■プロトコル組合わせ機能

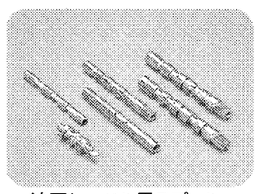
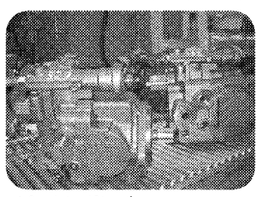
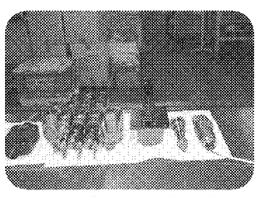
コロナ電気株式会社　http://www.corona-el.co.jp/
〒312-0052 茨城県ひたちなか市東石川3517 電話 029-273-6114

つくります!
あなたのファイル!
■ご予算・ご使用に応じて製作いたします
■サンプル製作も可能です

NEW 軽金属材のプレス加工とボス成形


マグネシウム　AZ31B　2.0t
絞り部品
マグネシウム合金・アルミニウム合金・真鍮に可能
販売■山野井商事株式会社 〒302-0004 茨城県取手市取手2-1-20-408 Tel 0297-74-1426(代) Fax 0297-74-1202
URL:http://www.yamanoishoji.com E-mail:info@yamanoishoji.com
製造■山野井精機株式会社 〒300-2347 茨城県つくばみらい市豊体1670-3 Tel 0297-58-1211(代) Fax 0297-58-1215
URL:http://www.yamanoiseiki.co.jp E-mail:master@yamanoiseiki.co.jp

茨城産業人クラブ　会長 柳生 修

お問い合わせ 茨城産業人クラブ事務局 〒310-0015 水戸市宮町2-3-2（日刊工業新聞社茨城支局内） TEL029-221-6400 FAX029-221-6416

世界を見つめ今、"創造と挑戦"
我社は機械加工、熱処理、研削加工、組立、性能検査と一貫した生産ラインを有し、スプールをはじめとした精密加工部品、ピストンポンプAssy、バルブAssyの主要製品群をもった油圧専門の製造メーカーです。

油圧ショベル用スプール

ピストンポンプ　65cc.80cc

リリーフ弁、スタビライザー
株式会社 協立製作所
茨城工場 〒309-1105 茨城県筑西市三郷1239 TEL.0296-57-6151(代) FAX.0296-57-9842
本社 〒142-0052 東京都品川区東中延1-2-19 TEL.03-3786-7200 FAX.03-3784-2735
上海工場 〒201100 上海市松江工業区東部新区新飛路250弄18号 TEL 6760-0247

まったく新しい自動化テクノロジーの概念を創造する。
今までの不可能を、「可能」へ。困難な手作業を、「自動化」へ。
〈グリス付Oリング用パーツフィーダー〉
製品特長
●グリス、シリコンオイル等を塗布した状態での1個出しが可能。
●ホッパーには、大量投入(1,000～2,000個以上)が可能で、長時間の安定供給が可能。
●ホッパーは、残量が目視出来る透明ケースとなっている。
●部品供給スピードは、60～100個/分と、高速使用も可能。
●ホッパー、1個分離部、直進フィーダーが一体化され非常にコンパクト。
●対象のOリングは、φ3～30まで、3機種により様々なニーズに対応。
●特許出願中。

独自の技術で未来を拓く
株式会社 TMP（ティー・エム・ピー）
〒319-1234 茨城県日立市大和田町645番地
産業ロボット・計測システム・パーツフィーダー・自動ドア
お問い合わせ TEL.0294-52-6981(代) FAX.0294-52-3640
E-mail:info@tmp-jp.com
詳しくは➡http://www.tmp-jp.com/